

新潟市のこどもの数は 86,606 人

令和5年4月1日現在の新潟市のこどもの数（推計）は、
前年に比べて1,952人減少しました。

5月5日「こどもの日」から1週間（5月11日まで）は、「子どもの権利週間」及び「児童福祉週間」です。

このほど、新潟市のこどもの数（15歳未満）について、新潟県人口移動調査に基づき、下記のとおりまとめましたので、広報にご協力くださいますようお願いいたします。

記

掲載項目

- こどもの数及び総人口に占めるこどもの割合の推移（別添資料 表1・図1）
- 出生児数の推移（表2）
- 各歳別こどもの数（図2）
- 行政区別こどもの数及び総人口に占めるこどもの割合（表3・4）

※詳細は別添資料をご覧ください。

※こどもの数 資料掲載HP：

<https://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/ninshin/childpopulation.html>

こどもの数 HP
2次元コード



※新潟市子ども条例HP（子どもの権利週間）：

https://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/ninshin/info/kodomo_jourei.html

子ども条例 HP
2次元コード



新潟市子育て応援キャラクター
ほのわちゃん

【問い合わせ先】

○新潟市こども未来部こども政策課
担当：吉岡
電話：025-226-1193（直通）
MAIL：mirai@city.niigata.lg.jp

新潟市のこどもの数 (令和5年4月1日現在)

令和5年4月1日現在における新潟市の「こどもの数（15歳未満人口）」の推計は次のとおりです。

1 こどもの数は86,606人

- 令和5年4月1日現在におけるこどもの数（15歳未満人口）の推計値は、86,606人で、前年に比べ1,952人減少しました。（表1）
- 令和3年度における出生児数は5,132人で、前年と比較して22人減少しています。（表2）
- 年齢不詳を除く総人口に占めるこどもの割合は11.4%で、年々減少しています。（次頁 図1）

表1 こどもの数の推移

年	こどもの数 (人)	総人口に占める割合(%)
平成24	102,422	12.7
平成25	101,260	12.6
平成26	100,187	12.5
平成27	99,032	12.4
平成28	97,674	12.2
平成29	96,455	12.1
平成30	95,554	12.0
平成31	94,176	11.9
令和2	92,943	11.8
令和3	91,547	11.7
令和4	88,558	11.6
令和5	86,606	11.4

出典：新潟県人口移動調査（各年）

表2 出生児数の推移

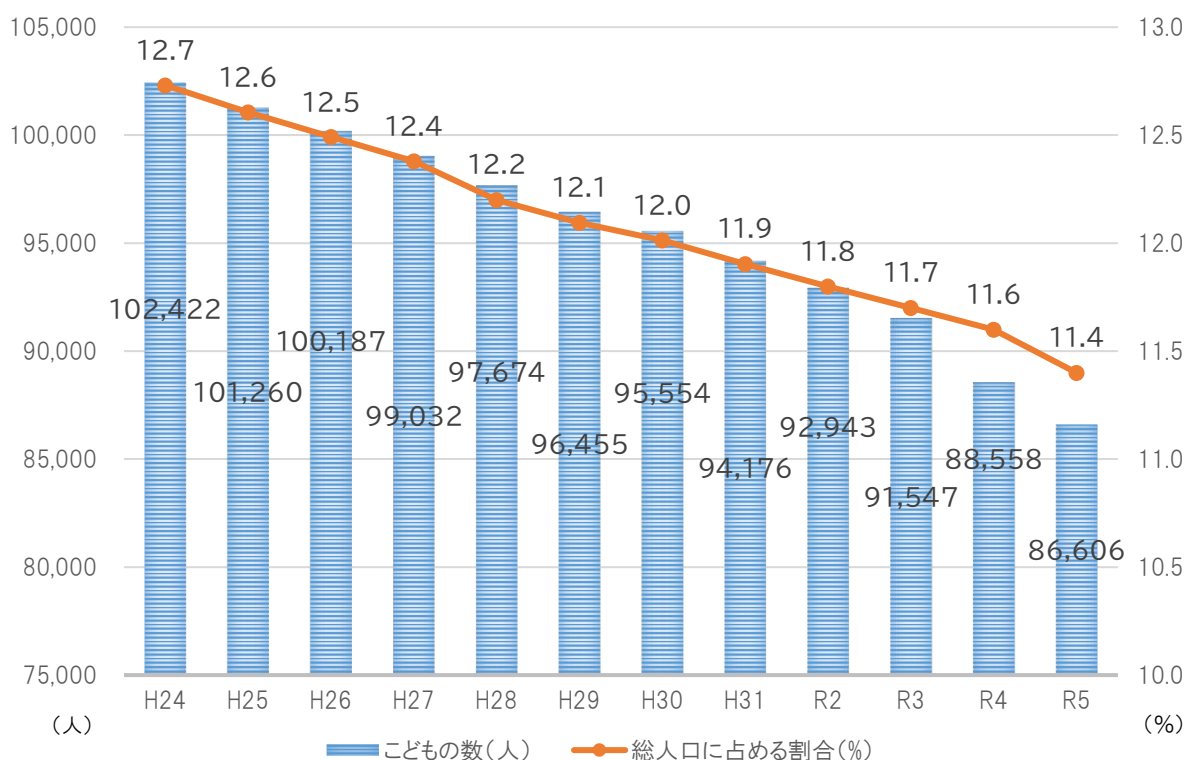
年	出生児数(人)
平成24	6,369
平成25	6,285
平成26	6,181
平成27	6,182
平成28	5,936
平成29	5,724
平成30	5,669
令和1	5,323
令和2	5,154
令和3	5,132

出典：厚生労働省「人口動態統計（確定数）の概況」（各年）



新潟市子育て応援キャラクター
ほのわちゃん

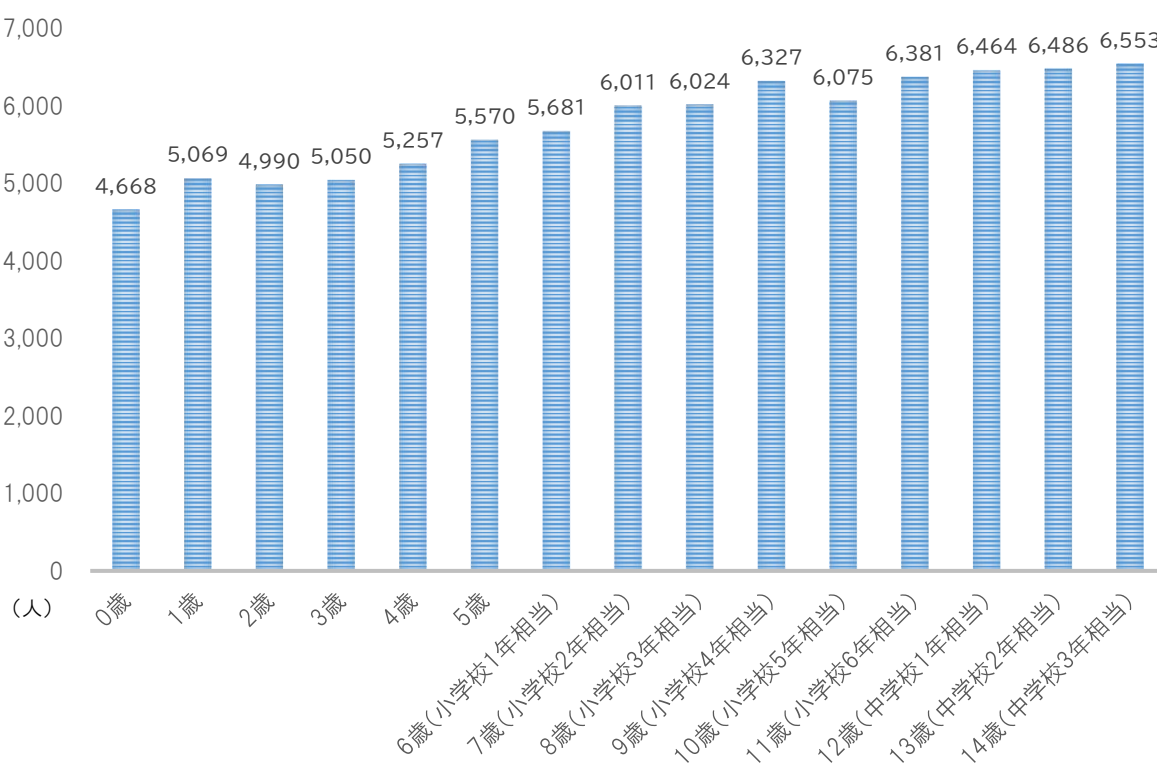
図1 こどもの数及び総人口に占める割合の推移



2 各歳別こどもの数

○ こどもの数を年齢別にみると、14歳が6,553人で最も多く、0歳が4,668人で最も少なくなっています。(図2)

図2 各歳別こどもの数



3 こどもの数は中央区、割合は江南区がトップ

- こどもの数を行政区別にみると、中央区（18,697人）及び西区（18,468人）、東区（14,836人）の3区で市全体の約6割を占めており、以下秋葉区（8,522人）、江南区（8,488人）の順に続いています。（表3）
- 年齢不詳を除く総人口に占めるこどもの割合を行政区別にみると、江南区（12.65%）が最も高く、次いで西区（11.91%）、秋葉区（11.75%）となっています。（表4）

表3 こどもの数(行政区別)

行政区	人数(人)
中央区	18,697
西区	18,468
東区	14,836
秋葉区	8,522
江南区	8,488
北区	7,614
西蒲区	5,286
南区	4,695

表4 総人口に占めるこどもの割合(行政区別)

行政区	割合(%)
江南区	12.65
西区	11.91
秋葉区	11.75
東区	11.50
南区	11.25
北区	11.02
中央区	10.91
西蒲区	10.12